

Aグループ (市民の現状)

(課題)

(解決策)

(行政)(解決策)

(行政の課題)

(行政の現状)

行政からの情報の受信

市が参加を求めているか分からなかった。

情報が得にくいので、知らないで終わってしまう。

意見が反映されているかどうか分からない。

市民からの情報の受信

あまりよく分からない。

伝えたいことがあっても、どうやって伝えればいいか分からないので、分かりやすくする必要があります。

市民の市政に対する関心の低下?

市民は市政に興味がない? → 興味を持たせるにはどうしたら良いか?

参画に対する問題点

参加しにくい。

町内会に入っていないと要望しにくい。

対応に時間がかかる。

柔軟性がきかない、融通がきかない、妥協するのは民間

思いつきやいきおいで行動する民間に対して行政は慎重すぎる!!

情報の発信のしかたに問題があるのではないか。

市民の要望を伝えるにはどうしたらよいか?

興味を持たせるにはどうしたらよいか?

参加を積極的なものにするにはどうしたらいい?

市民が参加しやすい環境をどう整えていくのか?

決定するまでのプロセスをどう効率化するのか?

編集、ネタ集めに市民も参加する。世代別モニター

みんなが集まりやすい場所で開催する。

計画は、有識者等の意見が重要であると思うが、実施、反省は、市民の参加がとても重要である。

Plan・Do・Seeそれぞれの段階で市民は積極的に参加するとよい。

情報の公開を推進し、それに対する想いや意見集約の行い方を体系的に行う。

魅力ある情報公開のあり方

市政だよりの改善。おもしろくする!

市政を分かりやすく四コマにまとめる。

編集のプロを引っばれないか? もしくは育成できないか?

市政のみではなく、市でおきている物事に関心を持つべき。

字を大きくする!! 良い見出しを一生懸命考えるしかない。

絵・写真を多くする。

読者投稿ページを設ける。

各課交流の場を設ける(例えばお昼休みに一緒に食べるとか)

意識の差をどのようにしてうめるのか?

市が関係している会議に参加している人や、業務で市役所に入出入りしている人以外の市民の方の想い・意見にも目を向ける(子ども含む)。

予算の取り方をなんとかする。

市民・職員の参加率向上の為に

申請の遅れと書類不備をふせぐためには?

ヨコの連携をうまく機能させるためには?

窓口でお客様に言われたことを職員全体に広めるために話し合う

官・民の意識の差、協働の難しさ

直接市民の方からいただいた意見は上司や関係部門等に伝える。その他陳情や要望の受付を行っている。

要望があり、協力したくても予算がなくてできない。

市民がどんどん参加できる魅力の創出が困難

イベント活動の他、本検討会のような行政への意見を直接言えるような機会に積極的に参加してほしい。

白河のイベント・お祭りに積極的に遊びに行き盛り上げる。

民間の行事に市職員がもっと積極的に参加すべきー民間と行政がお互いに歩み寄ることが真の協働につながる。

公平・公正さを求めるといきづまる。

どうしても後手になってしまう。

民と官の認識の共通化

予算の問題

民間イベントへの職員の参加

組織的な問題(決定が遅い)

担当課が複数にまたがるときに、うまく協力できない。

統率がとれなくなってしまう。(責任者の所在が不明になる)